



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社サガミホールディングス 上場取引所 東・名
コード番号 9900 URL <https://www.sagami-holdings.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 尚真
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理担当 (氏名) 中島 康文 (TEL) 052-737-6000
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	22,943	16.5	1,486	60.2	1,546	△3.5	1,055	△9.9
2023年3月期第3四半期	19,684	23.9	927	—	1,604	△19.1	1,171	△17.8

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,114百万円(△16.9%) 2023年3月期第3四半期 1,342百万円(△10.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	34.98	—
2023年3月期第3四半期	38.85	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,765	16,875	68.1
2023年3月期	24,156	15,936	65.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,875百万円 2023年3月期 15,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	5.9	1,250	37.3	1,300	△17.4	900	1.5	29.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	30,301,784株	2023年3月期	30,301,784株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	17,967株	2023年3月期	17,762株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	30,167,031株	2023年3月期3Q	30,153,391株

(注)「株式給付信託(BBT)」制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類へ移行したことにより、法律に基づいた外出自粛の要請がなくなったこと、政府による経済活動促進策、及び訪日外国人旅行者数の増加などにより、消費マインドの改善と人流の回復がみられました。

一方、不安定な国際情勢や、為替相場における円安の常態化による仕入れ価格の上昇、及び人員不足等を要因とする人件費の上昇などにより、依然先行き不透明な状況が継続しております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルスの感染症法上の5類移行に伴い、コロナ禍前以来となる各種催事の復活や外出機会の増加による国内消費・外食需要の高まり、及びインバウンド消費の拡大などにより集客は改善しております。

一方で、経済動向と同様に、食材の仕入れ価格や人件費、光熱費、物流費等のコスト上昇やコロナ禍以降、顕著化する採用難など厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画2023-2025『Together』にもとづき、「持続可能性」の追求と「再成長」の実現をテーマとして、基本的価値である「おいしさ・おもてなしの向上」及び「こころとからだ」の健康を目指した“食による提供価値の追求”に取り組んでおります。また、当社最大の経営資源である人材の「物心両面のゆたかさ」を実現し、従業員の「生きがい」と「やりがい」を両立することで、引き続きお客様への提供価値及び企業価値の向上に努めてまいります。

（各事業部門）

① 和食麵処サガミ部門

和食麵処サガミ部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を6回実施いたしました。また、4月に「ゴールデンウィーククーポン配布企画」及び「新メニュー告知チラシの折り込み」、6月にうなぎメニューを訴求した「父の日企画」、7月に「夏の感謝祭」、9月に「シルバーウィーククーポン配布企画」及び「敬老の日フェア」、11月に「冬の感謝祭」、12月に「年末年始割引券配布企画」を各1回実施いたしました。加えて、7月に「夏の感謝祭テレビCM」、8月に「北海道味めぐりメニューのテレビCM」、11月に「冬の感謝祭テレビCM」、12月に「ゆく年くる年テレビCM」を放映いたしました。一部地域限定の販促企画としては、4月に「センキョ割」、7月に「御園座招待企画」を実施いたしました。12月の年末においては、「そば食べ放題」や「年越しそば」の歳時企画を実施いたしました。

これらの施策により、既存店客数は前年同一期間に対して9.2%増、客単価は前年同一期間に対して3.4%増となり、既存店売上高は前年同一期間に対して13.0%増となりました。

店舗関係では、「和食麵処サガミ 川名店」（5月）、「和食麵処サガミ 安城桜井店」（7月）、「和食麵処サガミ 東郷店」（9月）、「和食麵処サガミ 常滑店」（10月）、「和食麵処サガミ 津島埋田店」（10月）、「和食麵処サガミ 岐阜本巣店」（12月）を出店いたしました。その一方、「和食麵処サガミ 越谷南店」（7月）、「和食麵処サガミ 清水店」（11月）を閉鎖いたしました。

当第3四半期末での店舗数は137店舗であります。

② 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として、「料理フェア」を6回実施いたしました。また、5月に「母の日御膳」メニューの販売、6月に「父の日フェア」、6月及び7月に計6日間「手延べうどん食べ放題企画」、7月に手羽先及びアルコール商品をお値打ち販売した「夏のごちそうフェア」、9月に「敬老の日フェア」、10月に「秋のごちそうフェア」、11月に「和食の日フェア」、12月に歳時メニュー（年越しそば・宴会）訴求チラシの折り込みを各1回実施いたしました。更に、11月に東京都内の味の民芸18店舗を対象に「食べて応援！海の幸キャンペーン」に参加いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 東大和店」（6月）を閉鎖いたしました。

当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み50店舗であります。

③ どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を9回実施いたしました。また、4月に「どんどん祭り」、11月に「GO! どんどん庵キャンペーン」を実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 名駅西店」(10月)を業態転換に伴い閉鎖いたしました。

当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み31店舗であります。

④ その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において、「料理フェア」を6回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を9回実施いたしました。セルフ十割そば「長助」で、「料理フェア」を、「かき揚げ十割そば長助」で8回、「十割そば二代目長助」で7回実施いたしました。また、「十割そば二代目長助 野田店」で、「十割そば食べ放題企画」を7回実施いたしました。

国内店舗関係では、「水山 新宿紀伊國屋店」(10月)、「JINJIN 新宿紀伊國屋店」(10月)、「かき揚げ十割そば長助 名駅西店」(12月)を出店いたしました。その一方で、「DeLa PASTA Kitchen土岐店」(8月)を閉鎖したほか、「あいそ家 東郷店」(8月)、「あいそ家 津島店」(10月)を業態転換に伴い閉鎖いたしました。

海外店舗関係では、イタリア・ベローナ市に「SAGAMI ベローナ店」(8月)をFCで出店いたしました。

当第3四半期末での店舗数はFC店舗を含み、国内25店舗、海外10店舗の合計35店舗であります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,943百万円、営業利益は1,486百万円、経常利益は1,546百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,055百万円となり、当第3四半期末のグループ店舗数は253店舗であります。

※前第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日)には、新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止協力金566百万円を「助成金収入」として営業外収益に計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、24,765百万円と前連結会計年度末比608百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末比325百万円減少し12,143百万円、固定資産は933百万円増加し12,621百万円、流動負債は前連結会計年度末比208百万円増加し4,909百万円、固定負債は539百万円減少し2,979百万円、純資産は939百万円増加し16,875百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月6日に発表した連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,725,470	9,924,937
売掛金	693,270	971,265
商品及び製品	148,159	191,090
原材料及び貯蔵品	401,068	625,788
その他	501,235	430,629
流動資産合計	12,469,205	12,143,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,138,535	2,687,968
機械装置及び運搬具（純額）	382,679	503,044
土地	6,442,133	6,442,133
その他（純額）	251,124	573,352
有形固定資産合計	9,214,472	10,206,499
無形固定資産		
その他	94,603	96,616
無形固定資産合計	94,603	96,616
投資その他の資産		
投資有価証券	712,077	771,727
長期貸付金	43,017	39,696
差入保証金	1,414,253	1,372,052
繰延税金資産	129,853	90,266
その他	79,284	44,504
投資その他の資産合計	2,378,485	2,318,245
固定資産合計	11,687,561	12,621,361
資産合計	24,156,766	24,765,072

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	772,579	992,910
1年内返済予定の長期借入金	1,160,629	972,296
未払金	1,841,692	2,037,878
未払法人税等	124,524	195,723
契約負債	98,248	70,386
賞与引当金	246,107	97,478
店舗閉鎖損失引当金	10,711	—
その他	445,971	542,657
流動負債合計	4,700,464	4,909,330
固定負債		
長期借入金	2,681,188	2,138,472
長期未払金	165,952	163,650
株式給付引当金	84,511	87,283
資産除去債務	477,123	481,919
長期預り保証金	69,129	70,272
その他	41,835	38,335
固定負債合計	3,519,739	2,979,933
負債合計	8,220,204	7,889,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,090,653	9,090,653
資本剰余金	6,192,923	6,192,923
利益剰余金	633,337	1,476,698
自己株式	△184,531	△147,911
株主資本合計	15,732,382	16,612,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,695	263,734
為替換算調整勘定	△515	△288
その他の包括利益累計額合計	204,179	263,445
純資産合計	15,936,562	16,875,809
負債純資産合計	24,156,766	24,765,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	19,684,427	22,943,513
売上原価	6,287,987	7,493,178
売上総利益	13,396,440	15,450,334
販売費及び一般管理費	12,468,665	13,963,526
営業利益	927,774	1,486,808
営業外収益		
受取利息	511	1,184
受取配当金	26,066	24,822
為替差益	47,714	7,394
受取保険金	19,670	1,963
助成金収入	566,950	—
雑収入	20,495	32,948
営業外収益合計	681,408	68,313
営業外費用		
支払利息	4,883	4,336
保険解約損	—	4,014
雑損失	152	359
営業外費用合計	5,036	8,710
経常利益	1,604,146	1,546,411
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,433
特別利益合計	—	2,433
特別損失		
固定資産除却損	719	2,735
減損損失	143,757	179,047
関係会社清算損	18,296	—
投資有価証券売却損	—	1,201
中途解約損	35,168	—
特別損失合計	197,942	182,984
税金等調整前四半期純利益	1,406,204	1,365,860
法人税、住民税及び事業税	225,409	282,966
法人税等調整額	9,229	27,544
法人税等合計	234,638	310,510
四半期純利益	1,171,565	1,055,349
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,171,565	1,055,349

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,171,565	1,055,349
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	167,598	59,038
為替換算調整勘定	3,253	227
その他の包括利益合計	170,852	59,265
四半期包括利益	1,342,418	1,114,615
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,342,534	1,114,615
非支配株主に係る四半期包括利益	△115	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。